

黒田重太郎 くろだ たろう 洋書家。明治二十年九月、二十日滋賀縣生れ、昭和四十五年六月、二十四日歿（八七—一九〇）。鹿子木五郎、淺井忠之助等。フランス游學後、大正十二年「社會會員」、翌年小出橋重等と信濃橋洋畫研究所開設、昭和二年全關西洋畫協會之組織、二十二年「紀念會」創之會員、四十三年日本藝術院賞恩賜賞受賞。

著書『セザンヌ以後』（大正九年六月）、二十五日日本美術學院（「世界現代作家」の「印象」）（大正十一年九月）、二十五日日本美術學院「世界現代作家選」）、『素描・色彩の研究』（昭和十五年十月十八日崇文堂出版部）、『洋畫技法全科の研究』（鍋井孝之共著、昭和十六年十一月二十八日厚生閣）、『京の田舎のり』（合著・宮崎小次郎編、昭和十七年五月五日京都・晃文社）、『畫房雜筆』（昭和十七年六月、二十五日大阪・湯川弘文社）、『近代繪畫』（昭和十九年四月、二十日京都・一條書房）、『モディイリアニ』（昭和二十四年十一月五日弘文堂）等。

